



*『ジャイモン』ネパール語で「主(神)を讃美しましょう」の意

ネパールに与えられた「機会と自由」

ヒマラヤをトレッキングしたときのことです。人家の近くを通り過ぎると子供たちが群がってきます。屈託のない笑顔で口々に叫んでいます。「Give me sweet!」。こちらも笑顔で通り過ぎようとする、彼らは、諦めずにどこまでもついてきます。あまりのしつこさに、持っていたチョコレート菓子をリュックから出して、彼らにあげました。すると、彼らは菓子を受取るやいなや、「Thank you」の言葉もなしに、去っていきました。彼らの様子にしばらく呆然としました。

どの集落に行っても同じでした。子供たちが近寄ってきて、「Give me sweet!」としつこく、本当にしつこく付きまといまいます。ある集落では、親と見られる女性が「外国人が来たよ!」と言って子供たちに出動命令している姿を目撃しました。日本では考えられない情景ですが、同時に貧しさの中に懸命に生きるたくましさを感じました。

カトマンズ市内に帰り、私たちをホテルまで運ぶ車の中から外の様子を見ました。鳴り止むことのないクラクションの騒音の中、交差点ではあちらこちらに様々な流れが隙間なく互いに入り乱れ、その流れの中を車、オートバイ、自転車、人、牛があちこちに進んでいきます。そんな中、ゴミ捨て場に真っ黒に汚れた子供たちがいました。貧しさのゆえ、ゴミを漁って生活の足しにしているのです。心痛むほど懸命に生きている子供たちの姿です。

小高い場所に位置したホテルの裏山を散歩しました。山道にある、小さな駄菓子屋風の店に立ち寄り「チャイ」を注文しました。おいしい「チャイ」を作ってくれたのは、小学生の男の子でした。貧しさの中で学校にも行けず、家の仕事を手伝っているのです。彼もまた、懸命に生きています。

2008年5月、ネパール制憲議会の決定によって、240年間続いていた王政は正式に終焉を迎えました。王室と深く結びついていたヒンドゥー教は、国教としての地位を失いました。また、社会の中に根強く残っているカースト制度も、実質的廃止の方向に向かうことが期待され、それは、下級カーストを閉じ込めていた様々な社会的制限の緩和・撤廃に良い影響をもたらすことでしょう。全国民に均等な「機会と自由」が与えられる大きな一歩が踏み出され、子供たちにとっては、将来の可能性に大きな広がりを与えられました。

ある亡命者が言いました。「今まで考えたこともなかった機会と自由が与えられました。しかし、私にはそれらをどう使えばよいのか分からないのです」。彼は、独裁国家で、体制の維持を目的とした洗脳教育を受けてきた人でした。

どのような生き方をするのかは、どのような目的に基づいた教育を受けるのかにかかっています。神が人に望む生き方は、神の栄光を表す最高の特権と栄光に満ちた人生です。懸命に生きるネパールの子供たちが、それにふさわしい教育を受け、歴史上初めて与えられた「機会と自由」をこの最高の特権と栄光のために大いに用いてくれることを願っています。

慶 相龍



目次:

ネパールに与えられた「機会と自由」	1
NHAの教育及び学習活動とその成果	2
質問箱	3
ネパール豆知識	3
支援者状況	4
新規に支援される子供たち	4
子供達の夢・好きな科目	4
編集後記	4

ハイライト:

NHAの子供たちの学習の様子
(2ページに紹介)

支援者に送られる子供たちの成長記録
(3ページに紹介)

子供達の夢・好きな科目
(4ページにグラフで表示)

NPO法人 ブリッジズ・フォー・ネパール (BFN)

事務局: 〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町3丁目1番4号 (鬼頭宅)

Tel/Fax 072-695-0513

URL: <http://www.npo-bfn.org>

NHAの教育及び学習活動とその成果

NHA(ニュー・ホライズン・アカデミー)は、2001年に創設された私立学校です。カトマンズ溪谷の南西に面したマチェガウンにあります。マチェガウンは、貧困層の人がとても多い地域です。

現在、学校には3つの校舎が建てられ、幼稚園から10年生まで25クラスあり、全部で720名が在籍しています。教師32名、職員10名で42名がスタッフとして働いています。校舎を挟んで前方に小さな2つの運動場、後方に広くないですが遊び場があります。この場所で朝礼を行います。教室の他に図書室、コンピューター室、理科室、食堂などがあります。その他の設備としてインターネットや送迎バスがあります。

学校の特徴としては、(1)海外のボランティアによる国際交流の奨励、(2)英語を中心とした授業による語学教育(TOEFL、TOEICなど)、(3)誰でも学べるように幅広い奨学金制度、(4)有能、誠実、優秀な充実した教師陣、(5)地域社会の理解と保護者の支援、協力、(6)ネパールを愛する人たちによる直接、間接のサポート体制、(7)そして、何より勉強熱心な子供たちが多くいることです。

その結果、2009年にNHAは、初めての卒業生を出しました。卒業生は、全国高校卒業資格・大学入学資格試験(SLC)で全員合格と言う傑出した成果(卒業生22人のうち、優秀賞8人、一等賞14人)を得て、素晴らしい社会的称賛を勝ち取りました。

子供たちは、学力面だけではなく、全人格的な発達にとって、教育的側面とは別に霊的、精神的、肉体的、社会的側面でも訓練される必要があります。その中で霊的側面が根本です。この根本を強めることこそ他の側面を強めることになると信じています。それで子供たちは、霊的側面から訓練され教えられます。私達の使命は、唯一の神を知ることにより良き人格と知識を備えた市民を輩出することです。「ビジョンを持ちなさい、心を開き考え方を変えなさい」です。ひとりの人に完全な変化をもたらすには、その人自身を根本から変えなければなりません。このことを知って子供たちは、神の**ことば(聖書)から霊的な真理を繰り返し教えられるのです。**

また、さまざまなゲームやスポーツ、その他の活動が生徒の精神的、肉体的側面を強めるために定期的に企画されています。社会生活に適応させるために、学校を出て清掃キャンペーンのような村のボランティアの仕事、野外研究、計画課題の探求、遠足、発表会、内外の学生グループ活動などに参加します。

私がNHAの英語教師に赴任したときと現在とは大きく異なります。2005年、チェ・クンミン氏(主な寄付者で、現在NHAの理事長)がNHAを引き継ぎました。当時のNHAは、貧弱な組織のもとで70-80人の生徒がいました。田舎の貧しい学校と大差ありませんでした。先ほどの設備は、何一つとしてなく暗い教室、平屋の建物、非衛生的なトイレ、詰め込まれた場所に制限されていました。

しかし、NHAは、その後4年間で、外観、教育内容、先生と生徒の心構え、学校の設備など多くの点で革命的な変化を遂げたのです。この成功は、チェ・クンミン氏の努力によりますが、その栄光は、全能の神に帰されます。チェ・クンミン氏にこのような力と賜物を与えたのは、全能の神だからです。まさに神の素晴らしい働きなのです。

最後になりましたが、BFNは、NHAをこのレベルにまで引き上げるという重要な役割を果たしてくださいました。BFNは、NHAの成功にとって欠くことのできない推進力です。BFNの皆様へ感謝せずにおられません。NHAに祈りをもって多大な経済的支援をしてくださる皆様方に心より熱く感謝とお礼を申し上げます。

ニュー・ホライズン・アカデミー 副校長 ピーター・マハージャン



校内で科学展示会を開催



遠足での炊飯・山羊を屠って美味を味わった



国際学校生達と交流会



SLC優秀合格広報



質問箱 質問: 「里親と子供との交流は、どのようになっていますか？」

回答 里親と子供との交流こそBFNの使命の一つです。送金によって、困窮状況の子供が学校で学ぶようにすることは、大きな柱ですが、それでは、単なる援助でしかありません。1対1の里親システムを通して、子供に生きる希望を与えて頂くと共に成長していく子供の姿を肌身で感じて頂きたいと思えます。そのため、次のような交流システムを策定しています。

1. 里親に「支援児童のプロフィール」の送付

里親に対して最初に提供する子供たちの情報です。支援する子供の写真、氏名、性別、学年、生活状況などで、子供のことを知ることができます。

2. 里親に「支援児童の成長の記録」の送付

年1回、「子供の成長の記録」を送付します。健康状況、趣味、将来の夢、里親への一言など自由に自分のことを書きます。先生からのコメントや写真もあり、毎年の成長の様子や学校での態度などがわかり楽しみです。

3. 里親から「支援児童への手紙」の送付

年1回、里親から子供に手紙を送ります。便せんに何枚でも自由に書いて励ましてください、信仰のことに触れて頂いてもかまいません。英語が望ましいですが、日本語でも翻訳文と一緒に送付します。

4. 里親からのプレゼントの送付

今年から年1回、里親からプレゼントを贈ります。受け取る子供たちに大差が出てはならないので重量等の規制をしますが、大きな励みになります。

さらに子供と直接会いたいと思われる方は、ネパールスタディーツアーに参加して頂き、学校訪問時に会うこともできます。また、ネパールに個人的に行く機会のある方は、ご連絡頂ければ会うこともできます。これからも、もっと子供たちとの交流を深めて頂けるように努力します。

My Annual Progress Report
私の成長記録

年 月

成長の記録 Growth Record 年

名前 Name: _____

年齢 Age: _____

学年 Grade: _____

身長 Height: _____ cm

体重 Weight: _____ kg

健康状態 Health

将来の夢(仕事) Future dream(job)

好きなこと My favorite things

好きな食べ物 My favorite foods

好きな科目 My favorite subject

行きたい国 Country I would like to visit

起きる時間 Wake up time

寝る時間 Bed time

私からひとこと My comment

日本語訳 Japanese translation

私の写真 My picture

Photo

私の先生 My teacher

Photo gallery

Photo

ネパール豆知識 (これって知ってた?)

○釈迦(仏陀)の誕生の地は、ネパールである。

「うそ! インドでしょう!」と思うのですが、実は、ネパールの南部タライ平原にある小さな村、ルンビニに生まれました。

伝説によれば、2500年前、釈迦は、母親のマーヤ夫人がお産のため実家へ里帰りする途中にルンビニの無憂樹の木陰で休んでいた時に夫人の右脇の下より姿を現し誕生したと言われています。ルンビニは1997年に世界遺産(文化遺産)に登録されています。



支援者状況 2009年度(4月~9月) 2009年9月30日現在

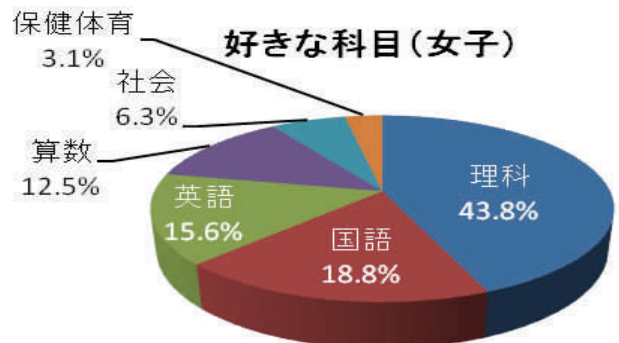
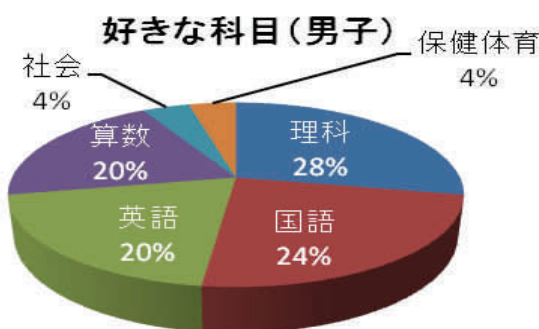
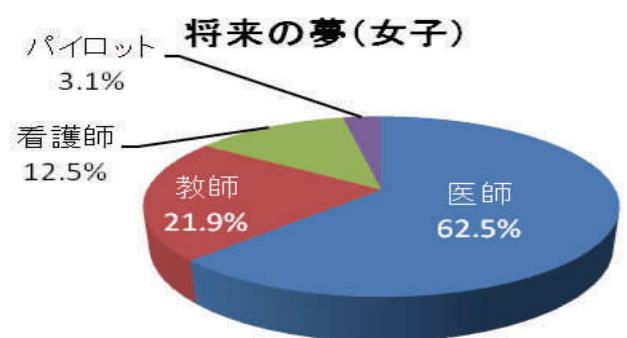
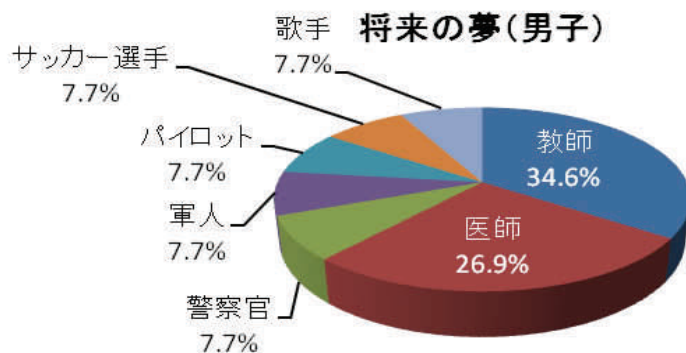
区 分	人数・件数	金 額	備 考
賛助会員	64名	月額 2,500円	
スポット支援	5件	100,000円	

*年度は、会計年度とする（4月から翌年3月まで）。

新規に支援される子供たち 2009年度(4月~9月) 2009年9月30日現在

氏 名	性別・学年	氏 名	性別・学年	氏 名	性別・学年
スシヤンタ・タパ	男 4年生	ルザ・マハリヤン	女 幼稚園児	アリシヤ・マハリヤン	女 2年生
プラチバハ・カルキ	女 6年生	ラシミラ・マハリヤン	女 3年生	ニメシ・バンダリ	男 8年生
ビピン・ダウンガナ	男 8年生	ビシャル・タパ	男 7年生	イラ・シレスタ	女 8年生
シレーサン・マハリヤン	男 1年生				

子供たちの夢・好きな科目(私の成長記録から集計 2009年3月現在 男子26名、女子32名)



編集後記

今年も残りわずかになりました。一昨年のアメリカのリーマン・ショックで始まった不況の波は、日本だけでなく世界経済に深刻な影響を与え続けていますが、BFNは、神様の恵みと、皆様の暖かいご理解によって、今年も前進することができました、心より深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、「ジャイモシ」も3号になって、何となく体裁が整ってきました。「ジャイモシ」は、皆様にネパールの実情、NHAの子供たちの様子、BFNの働きを少しでも知っていただくことを目標としています。現地の様子をお知らせしながら、日本で考えた支援でなく、現地に一番必要なものは何なのかを常に祈り、考えていく所存です。

まだまだヨチヨチ歩きですので、暖かくBFNを見守ってくださり、叱咤激励していただければ幸いです。

新しい年も、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。